



岡達志教授

専門：計量経済学、機械学習

Q：専門とされている研究分野についてお聞かせください！

A：私の研究領域は、データサイエンスにおける分析手法の開発とその実用化に焦点を当てています。具体的には、計量経済学と機械学習を基盤とした研究に従事しており、近年は推薦システムのアルゴリズム設計、自然言語処理によるテキスト解析、そして因果関係の推定に関する研究に取り組んでいます。

Q：ゼミの方針についてお聞かせください！

A：学生の皆さんには多才な方が多いため、その才能を存分に発揮できるような環境づくりを目指しています。才能の分だけ努力してもらい、ゼミ生間での協力を通じてお互いの才能を掛け合わせることで、個人では到底成し得ない成果を生み出していく、そのような学びの場を提供していきたいと考えています。理論だけでなく、実際に形として残るアウトプットを生み出すことも大切にしています。

Q：理想とするゼミの雰囲気について教えてください！

A：自由で建設的な議論ができる環境を何より大切にしたいと思います。メリハリのある学びも重視しており、研究に真剣に取り組む時間と、ゼミ対抗企画などを皆で楽しむ時間、どちらも大切にしています。将来を見据えた学びの場として、社会で即戦力となるスキルの習得と、かけがえのない人間関係の構築、その両方を実現できるゼミを目指しています。

Q：入ゼミ希望の2年生に求めるものは何でしょうか。

A：まず、チームでプロジェクトを進めることが多いゼミですので、他のメンバーと協力し合い、建設的に議論し協力できる能力を大切にします。また、身の回りの現象や社会の課題に目を向け、「なぜだろう」「どうすれば改善できるだろう」といった問題発見の視点を持てる学生を歓迎します。学習意欲と論理的に物事を考える姿勢も重視しており、数学やプログラミング、データ分析に対する関心と基礎的な素養があることが望ましいですね。ただし、高度なスキルは必要ありません。専門性は入ゼミ後に一緒に伸ばしていけますが、基本的な学習習慣と向上心、そして多角的な視点から物事を捉える柔軟性は欠かせない要素だと考えています。

Q：最後に2年生に向けたメッセージをお願いします。

A：大学2年生という時期は、将来への道筋を模索する大切な時期だと思います。好奇心を持って新しいことに挑戦する気持ちがあれば、おのずと機会が訪れる時期でもあります。ゼミでは、仲間と協力し切磋琢磨しながら、実践的なスキルと深い洞察力を身につけることができます。データの背後にある物語を読み解く面白さや、分析を通じて新たな発見をする喜びを、一緒に体験してもらいたいと思います。ぜひ一度、ゼミの雰囲気を見に来てください。